

26 医療安全管理部



医療安全管理部では、医療事故防止のためのマニュアル作成・改訂、事故対応、事故報告やインシデント報告の分析と改善策の実施、医療事故報告の提供などの業務を行っている。

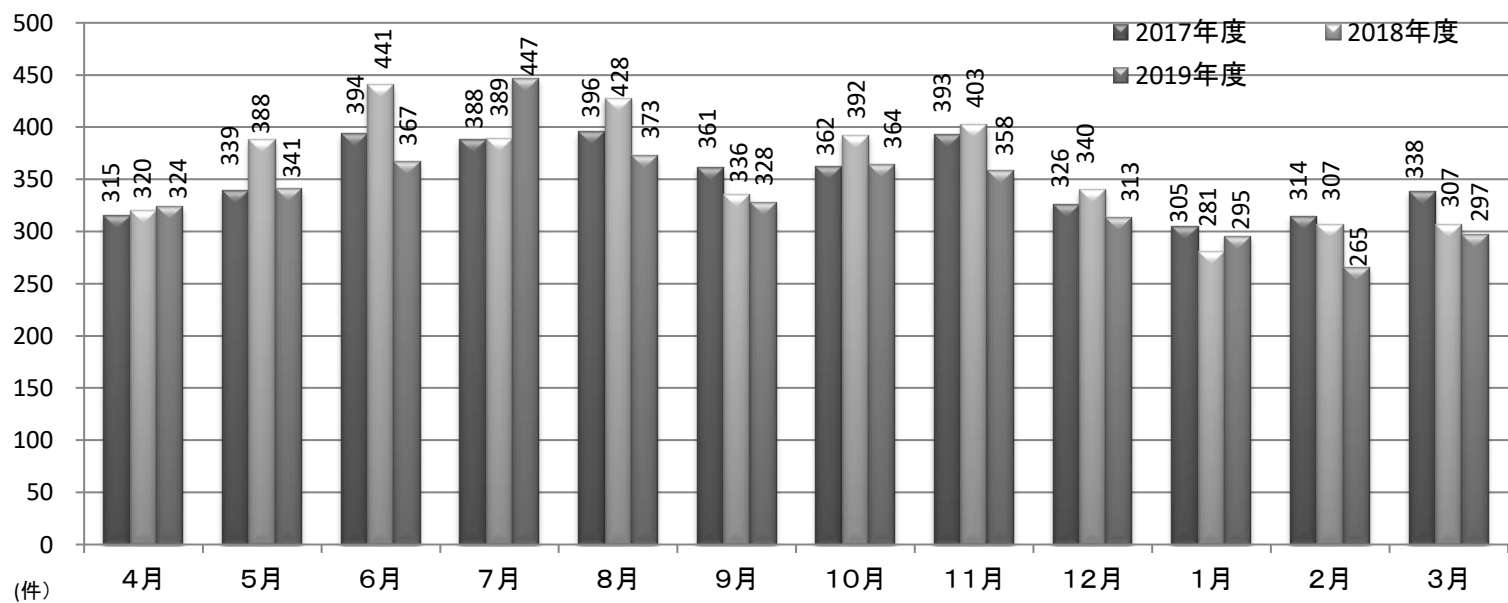
2019年度のインシデント報告件数は、前年から260件減少の4,072件だった。前年度までの報告数は増加傾向だったが、2019年度は減少に転じた。当院規模のインシデント件数は4,000～4,500件が望ましいため、今年度も更なる報告奨励活動を行っていく。報告内容は例年と同様、①処方・与薬②ドレーン・チューブ類の使用・管理③療養上の世話の順になっている。処方・薬剤関係の内容は、手順の不遵守や確認不足によるものが多数を占めている。ドレーン・チューブ類は自己抜去・管理に関するものが多い。

医師からのインシデント報告を10%以上と目標に掲げており、昨年度は9%と向上を認めた。今後も医師のインシデント入力促進の活動を強化する。

2020年度は病院機能評価受審を控えている。各マニュアルの見直しや不備を改善し、患者が安全で質の高い医療を受け続けることができるよう活動していく。また、スタッフが医療事故を起こすことなく、安心して医療を提供できる環境づくりに努めていく。

医療安全管理部は今年度、部員の変更・増員があった。新部員とともに今後も当院の医療の質の向上と、安全かつ適切な医療供給体制の確立のため、各部門・診療科と密な連携を図っていききたい。昨年より、医療安全ラウンドを増やし、対面式のフィードバックを増やすことで、患者、医療スタッフにより近い医療安全管理活動を邁進したいと考える。今年度も医療安全管理活動へのご理解・ご協力をお願いしたい。

26-1 年度別・月別インシデント報告件数の推移



26-2 年度別・内容分類別インシデント報告件数

(件)

区分	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2019年度 構成比率(%)
処方・与薬	1,156	1,253	1,420	1,431	1,438	35.3
ドレーン・チューブ類の使用・管理	657	697	722	858	815	20.0
療養上の世話・療養生活の場面	771	769	802	899	794	19.5
検査	389	372	435	395	360	8.8
診察、手術、麻酔、出産、その他の治療、処置に関する項目	231	294	353	225	200	4.9
医療機器等の使用・管理	151	165	142	184	161	4.0
輸血	27	20	39	33	22	0.5
その他	263	213	318	307	282	6.9
合計	3,645	3,783	4,231	4,332	4,072	100.0

※2018年度より項目変更あり